

# Stateflowからの量産/組み込みCコード生成初心者向けチップス集

**MathWorks Japan** 

© 2018 The MathWorks Inc.

◆ MathWorks<sup>a</sup>

## アジェンダ

- 1. はじめに
- 2. 基本設定
- 3. フローチャート
- 4. 状態遷移図/表
- 5. 各種関数の利用
- 6. 外部C関数の呼び出し

.



#### はじめに

- 本資料は、Embedded Coderを用いてStateflowモデルから組み込み用Cコードを生成したい方を 対象に、基本的な機能や使い方を紹介するチップス集となっています。
- 前提として下記の知識・技術が必要です。
  - MATLAB/Simulink/Stateflowの基本的な使い方やモデリングスキル
  - Embedded Coderの基本的な機能・使い方
  - C言語(組み込みソフトやマイコン知識があればベター)
- 例題モデルのチャートプロパティは右図の設定をベースとしています。 (例題によっては一部変更アリ)
- R2016bを前提に記述されています。
  - 他バージョンでは機能、UI、生成コードが異なる可能性があります。
- 本資料に関するご質問・ご要望は当社技術サポートまたは 担当営業までご連絡願います。



3

◆ MathWorks

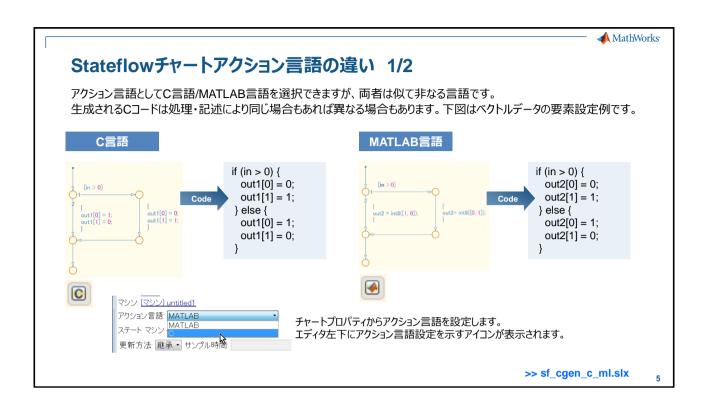
### 例題モデルについて

- MATLABから sf\_cgen\_examples.html を開くと例題用 Webページが表示されます。
  - 同ページ内リンクをクリックすると例題モデルが開きます。
- モデルからCコードを生成するにはモデルエディタの ビルドアイコンをクリックしてください。
- スライド右下に例題モデル名を記載しています。

例: >> sf\_cgen\_c\_ml.slx



4



# Stateflowチャートアクション言語の違い 2/2

両言語の主な違いはStateflowドキュメントに記載があります。



ヘルプ表示MATLABコマンド: web(fullfile(docroot, 'stateflow/ug/differences-between-matlab-and-stateflow-action-language.html'))
Webヘルプ: https://www.mathworks.com/help/releases/R2016b/stateflow/ug/differences-between-matlab-and-stateflow-action-language.html

◆ MathWorks

3

